

2020年度事業計画

2020年4月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料・バックエンド研究開発部門
人形峠環境技術センター

人形峠環境技術センター（以下「センター」という。）は、ウラン取扱施設の廃止措置や鉱山関連施設の閉山措置を継続しつつ関連する研究開発等を進めます。業務の実施に当たっては、日本原子力研究開発機構の基本方針に従い、安全確保の徹底を最優先とした上で、効率的な業務の推進に努めます。また、地域社会との共生及び成果普及への取り組みなどを継続してまいります。

センターが推進する「ウランと環境研究プラットフォーム」については、「第二期環境研究懇話会」の開催を計画しており、センターが取り組む事業について、安全・安心や地域社会への貢献等の視点からご意見・ご提言をいただきながら、事業を進めてまいります。

2020年度のセンターの取り組み事項は、以下のとおりです。

1. 安全確保・環境保全に関すること

- 1) センター各施設・設備、核燃料物質及び放射性廃棄物の安全かつ適正な管理を継続します。
- 2) 品質保証活動、潜在的リスクへの対策、基本動作の徹底、現場でのコミュニケーションの活発化、安全確保、法令遵守を最優先とした業務実施活動を継続します。
- 3) エネルギー管理により計画的に省資源を推進し、地球温暖化防止等、環境に配慮した業務実施活動を継続します。

2. 事業（開発・研究等）に関すること

- 1) ウラン濃縮原型プラントでは、2018年度に原子力規制委員会に申請した加工事業の廃止措置計画の審査の対応を進めており、廃止措置計画の認可を受け次第、解体に着手します。また、減損ウランの原子力事業者への譲り渡し等の検討を進めます。
- 2) 濃縮工学施設では、使用を終えた設備の解体撤去、除染済部品のクリアランス対応、澱物類の処理方法の確立を目的とした基礎試験、不要物品等の処置を継続します。

- 3) 施設の安全対策として、高経年化対策、耐震化対応及び自然災害対策を進めます。
- 4) ウラン廃棄物の処理・処分技術開発として、除染技術開発等のウラン廃棄物工学研究やフィールド調査等の環境研究を進めます。

以 上

2020年度事業計画スケジュール

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 安全確保・環境保全に関すること												
(1) 各施設・設備及び放射性廃棄物の安全かつ適正な管理	施設・設備の維持管理 放射性廃棄物の管理											
(2) 安全確保、法令遵守を最優先とした事業実施活動の継続	品質保証活動、潜在的リスクへの対策、基本動作の徹底、 現場でのコミュニケーション等の安全活動の実施											
(3) 環境に配慮した事業実施活動の継続	省エネルギー、省資源活動の実施											
2. 事業（開発・研究等）に関すること												
(1) 廃止措置計画の審査対応 ・解体に着手 ・減損ウランの原子力事業者への譲り渡し等の検討 (ウラン濃縮原型プラント)	廃止措置計画の審査対応、解体に着手 減損ウランの原子力事業者への譲り渡し等の検討											
(2) 設備の解体撤去 ・除染済部品のクリアランス対応 ・澱物類の処理試験 ・不要物品等の処置 (濃縮工学施設)	設備の解体撤去、クリアランス対応、 澱物類の処理試験、不要物品等の処置											
(3) 各施設の高経年化対策、耐震化対応及び自然災害対策	各施設の高経年化対策、耐震化対応及び自然災害対策											
(4) 除染技術開発等のウラン廃棄物工学研究 ・フィールド調査等の環境研究	除染技術開発等のウラン廃棄物工学研究 フィールド調査等の環境研究											